



Narashino International Association

SQUARE スクウェア

季刊会報

第 97 号

2012年3月1日

Narashino International Association (NIA)

青空の公園で遊んだ、ふれあいの一日



子供たちとの“単語：タンゴ”の遊び

子供たちと、どのように遊ぶか！このことをNI-Youthのメンバーが考えました。『木』『山』『雲』・・・『走る』『犬』などの単語を発音して子供たちに示します。子供たちは理解できたら、写真のようにジェスチャーで答えます。しかし、このゲームはそのような単純なゲームではありません。例えば”木”の発音、『ki』（日本語）『tri:』（英語）『shu』（中国語）『namu』（韓国語）『mod』（モンゴル語）と同じ単語が五か国で発音されます。最後にはどこの国の単語が飛び出すか、予測が付きません。呑み込みが早く、記憶力のある子供たちは素早くジェスチャーで答えます。間違っただけの子供は、その場に屈みます。最後まで残った子供たちはご褒美をGET！ 一生懸命挑戦する子供たちのふれあいの写真です。

習志野市国際交流協会（NIA）ふれあい祭がスタートしたのは、今から4年前の2008年（H20）です。ふれあい祭は市民の皆さんに参加していただくことにより、NIAを理解していただくとともに、NIAへの一層の関心を深めていただく事をねらいにスタートしました。

第4回目となる今年のふれあい祭は、7月に開催した運営会議で、「いつ・どこで・なにを」するかの基本事項を決めました。3年間室内での催しだったことから、今年は「屋外に飛び出しての祭」にしようと場所を「香澄公園」に決めました。

テーマは前回と同じ「世界をつなぐ ふれあい あそび」としました。また、「楽しくそして奉仕活動も」ということから香澄公園の会場までウォーキングをしながらゴミ拾いのボランティアを企画しました。

このような基本事項を受けて、祭の実施部隊である実行委員会が8月18日に設置され、実施に向けての準備作業が開始しました。実行委員会の構成は、各部会・委員会から推薦された8名の会員と外部団体からの助っ人として、習志野中央ロータリクラブ及び習志野青年会議所の2団体からそれぞれ参加頂きました。

実行委員会では次の4班編成を持って取りかかりました。

- 総務班：祭会場の確保、調度品の借用、庶務
- ボランティア活動班：会場までのクリーン作戦
- ゲーム班：会場でのイベント内容を担当
- バーベキュー班：会場でのバーベキューを担当

準備で最も苦勞し、かつ重要な事項は、参加者数の算出でした。この人数が確定できないと、目玉であるバーベキューは計画できません。なぜなら香澄公園で使用できる炉の数も制限されています。結果、炉の数、調理の時間等を検討した結果、バーベキューは中止し、目玉は「芋煮」とし、参加者総数を250人としました。これにより、バーベキュー班改め「食事班」とし、材料の買い出し、前日の仕込みを経て、当日多くの会員スタッフの協力の下実施する体制が整いました。

この参加者を基準に、都合5回の実行委員会を経て、各班がそれぞれ準備に取りかかりました。

祭が近づくとつれて、気になるのがお天気です。予報を聞くと一喜一憂の毎日です。しかし、結果は上々の晴れ、風もなく小春日和ともいえる穏やかな一日となりました。祭当日はボランティア班57名

が3ルートに分かれて午前9時に京成津田沼を出発です。このボランティア班の到着を待って、メイン会場のイベントが開始されました。

袖っ鼓連の「和太鼓演奏」「面踊り」、その後津田沼小学校の子供たちによる「よさこいソーラン」と続きます。会場には近隣の方々を始め、外国の方々の姿も見えます。お昼近くになり「食事班」の「焼きそば（150食）」「焼うどん（150食）」「フランクフルト（100食）」「餃子（100食）」は大忙しです。お昼過ぎには好評の食事班の全メニューが完売という結果となりました。

午後に入って、NI-Youthが子供たちを相手に実施した「ジュスチャーゲーム”単語・タンゴ”」をかわきりに「日本舞踊（習志野市芸術文化協会）」、「太極拳（郭泰基氏他有志）」のイベントが行われました。屋台では「スーパーボール」「綿あめ」（青年会議所）に子供連の親子さんが行列です。

当日の参加者はスタッフも含め、本部発表で400名です。協賛頂きました団体は以下のとおりです。

習志野中央ライオンズクラブ
習志野ライオンズクラブ
習志野中央ロータリークラブ
習志野ロータリークラブ
習志野青年会議所
香澄連合町会

屋外でのイベントは、初めての経験の方も多く大変ご苦勞をおかけしました。反省会では厳しいご意見も頂きましたが、次回はより楽しく、多くの皆さんに参加頂けるようにしてまいります。



特集“第4回ふれあい祭”

歩いて拾って



クリーン作戦は京成津田沼駅前からスタート。集まったのはNI-YOUTH、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、ほか57名のみなさんたち。日本語教室で学ぶ外国人青年たちも元気一杯です。ここからふれあい祭会場まで3ルートに分かれて、道の両側を丁寧にゴミを拾いながら歩き出しました。

PRのためのNIAのハッピー旗も目立ちます。幸いと言うべきかゴミは思っていたより少なく、きれいな街習志野を再確認しました。青空の下足取りも軽くおしゃべりも交えて約1時間、楽しく爽快なウォーキングになりました。



特集“第4回ふれあい祭”

作って食べて



*** にぎやかイベント ***

ゲーム班長 大久保龍樹

ゲーム班ではイベントとして和太鼓演奏、面踊り、よさこいソーラン、日本の踊り、太極拳、チェンズーなど多くの国際色を出し、国際交流協会ならではの催しを企画しました。また、屋台としてスーパーボールや綿あめ体験なども企画し、参加される方々が日本の伝統文化である祭に直に触れて頂き体験する機会を提供させて頂きました。各イベントも屋台でも、どちらでも日本の祭を体験できる設えは参加された皆様から好評を頂けた事しつらと思います。そして、今回は体験してもらう事で日本の伝統文化も参加者に伝えられたものと考えます。今回初の野外イベントでの設営で、まだまだ設営不足の部分はありませんでしたが、国際交流協会として日本と海外を結び、ふれあえる機会が提供できました。



踊って遊んで



“皆様のご協力に感謝！”

バーベキュー班 佐藤悦子

お祭りといえばヤキソバ屋台が連想されます。そこで今回のふれあい祭では、当初予定したバーベキューに替わり、出来上がりが早いヤキソバ、焼きうどん、餃子に加え、参加者全員にふるまうことの出来るメニューとして「芋煮」を加えました。

当日は屋外でのレクリエーションに絶好の日となり、予想以上の人出に大混乱となってしまいました。食材は、調理容量や参加人数を見越して適量を準備したのですが、あっという間に売り切れ、皆様にご迷惑をお掛けしました。でも「楽しかった」「美味しかった」という参加者の方の声を聞くと、長い準備のあれこれや、当日のバタバタなどの苦勞も報われます。

参加された皆さんには、おいしい一時を過ごして戴けたと自負しております。

次回は参加者もスタッフも共に楽しめる祭り作りを目指したいと考えております。



NI-Youth の活動

小川 翔平



外国語を勉強したい！
いろんな国の人と仲良くなりたい！
学校以外の友達もたくさん作りたい！
でもどうすれば良いのかわからない・・・
そんな風に思ったことのある人はいませんか？こんにちはNI-Youthです。まだあまり馴

染みのない名前かも知れませんが、私たちは青少年を中心とした国際交流活動を企画しています。具体的にどんなことをしているかというと、留学生と日本の学生で一緒に出かけたり交流パーティーをしたりしています。今までは早稲田大学の学園祭にいろいろな国の友達と遊びに行ったり、クリスマスパーティーをしてプレゼント交換などを行ないました。毎回20名近い方が交流会に参加して下さっています。

みなさんも私たちと一緒に活動してみませんか？いろいろな国の人がいるので、みんな英語で話したり中国語で話したり韓国語で話したりと世界の様々な言葉を使うことができます。もちろん「まだ外国語はできないよ」という方もいらっしゃると思いますがご安心を！留学生たちはほとんどが日本語を勉強しに来ている学生なのでみんな日本語が上手です。「まだ外国語はできないけど外国の人と話してみたい！」という方も大歓迎です。また、私達と一緒に交流会を企画したいという方も待っています。

友達の輪や自分の視野も広がり、社会で必要なスキルも身につけることができます！

興味のある方はぜひ事務局までご連絡ください。

For all who wish to learn foreign languages.

For all wish to make friends from around the world.

Step out from your school and find a new world!!

NI-Youth

文化講演会「放射能」

吉田 武

東日本大震災以来、「放射能」という言葉は突然身近な問題となりました。そこで少しでもこの難解な放射能を理解出来ないかと、東邦大名誉教授大西先生を紹介していただき、今回の講演会が実現しました。

放射能は、医学では強力な武器ですが、単なる物質としては、大変恐ろしい凶器のようです。

会場には70名ほどの熱心な方が参加しましたが、皆さん問題意識が高く、質問タイムでは白熱の意見交換がされ大変盛り上がりましたが、やはり除染は今後どうなるのか子供達への安全対策は等次世代を担う子供達への不安が多く聞かれました。

被災地でなくとも放射能を身近な問題として真剣に考えていることが伝わってきました。大西先生から、市販の安い放射能測定器は買わないほうが良いとのアドバイスがありました。精度が違うようです。会場の入り口に高価な測定器を展示しましたが、一日中感知していました。どこにも放射能はあるようです。

日本は被爆国なのに、日本人は放射能に無関心過ぎたという、大西先生の言葉が印象的でした。



ミニバスハイク旅行

吉田 武

今回は地元千葉県が舞台です。木更津の証誠寺から紅葉の亀山湖、酒蔵見学、最後が市原にある「道の駅」のコースです。

参加者は総勢 39 名（内外国人 7 名）。いつも常連の方が多く、今回も何人かお見受けしました。8 時出発のバスは一路木更津の証誠寺へ向かいます。300 年の伝統がある寺の住職の話はユーモアたっぷりで、全員がお腹を抱えて笑いこけました。境内には野口雨情作詞による有名な童謡「証誠寺の狸囃子」の碑があり、狸囃子伝説を思い出しました。

昼食は木更津の海辺で美味しい海鮮料理を食べました。近くの展望台では海風を感じながら東京、横浜を望むことが出来て、しばし日常を忘れました。

この後、紅葉を期待して亀山湖に行きましたが、残念ながら今年はちょっと時期が早く、紅葉は見ることができませんでした。でも皆で湖畔を散策し、記念写真を撮ったりして静かなひと時を過ごしました。

食べて散策の次は、楽しい日本酒ソムリエの館、小泉酒造に行きました。ここではお酒好きな人は出発時間が来ても離れたくないようでした。

バスの運転手が道を間違えるという珍事があり、最後の市原の「道の駅」到着時には日もとっぷりと暮れてしまい、慌しい買い物となりました。習志野に帰り着いたのは 18 時を回っていました。

今回は、NIA の吉村副会長も参加され、車内ではユーモアたっぷりの水の話をしていただき、一日中笑いとお驚きにつつまれました。吉村副会長にはレギュラーで参加していただきたいものです。



フィリピン料理に参加して

富澤 歌子

2 日前に降った雪がまだ残る寒い 1 月 26 日、国際交流協会主催のフィリピン料理教室が開かれました。年に 3 回行われる世界の料理教室は毎回好評で、今回も定員 15 名を超える 17 名が出席、3 種類のお料理は大好評でした。講師は当協会日本語を勉強されている江幡まりあ ろれとさんと佐野エヴァさんで、お二人とも数年前来日され日本人と結婚されている、とても明るく、ユーモアのあるフィリピン人です。10 時に開始、フィリピン料理についての説明後すぐ調理にとりかかりました。フィリピン料理は中国、ヨーロッパ、アメリカ、アラブ、アジア料理から影響を受け、東西の文化が融合してフィリピン風仕上げに出来ているそうです。



メニューは、①ポークメヌド：豚挽き肉、レバー、サラミ、たっぷりのにんにくにじゃがいも、にんじん、ピーマン、グリーンピース、その他数種類の食材を炒め、トマトペースト、ケチャップ、スープの素などで煮込んだ濃厚で、しかもマイルドな味なので大人から子供にも喜ばれる一品です。②マカロニハムサラダ：茹でたマカロニにパイナップル、レーズン、チーズ、ハムなどをマヨネーズと練乳で和えたサラダ ③バナナトゥローン：皮をむいたバナナにシュガーとシナモンをふり、春巻きの皮で包んでフライパンで焼いたデザート。1 時間半でこの 3 品を仕上げ、出来上がったお料理を頂きながら「美味しい」を連発、「保存がきくから便利ね、絶対家でも作ってみます」という声が聞こえてきました。楽しい会話をしながらお料理を堪能し、体も心も温かくなりました。江幡先生、佐野先生、スタッフの方々有難うございました。

語学講座（募集）

平成 24 年度語学講座の受講生を募集します。

〈受講期間〉

2012 年 5 月～ 2013 年 3 月（3 学期制・全 30 回）

〈講座内容〉

講座名	実施日等	定員
初級韓国語	毎週火曜日	各講座 15 名 (多数の場合 抽選)
初級中国語	毎週木曜日	
初級英語 I	毎週水曜日	
初級英語 II	毎週金曜日	

〈受講料〉

会 員：1 学期 6,000 円（テキスト代除く）

非会員：1 学期 7,000 円（テキスト代除く）

〈受講会場〉

サンロード津田沼 4 階会議室

〈申込み方法〉

住所・氏名（ふりがな）・電話番号・希望講座名・応募理由を明記し、ハガキ又は E メールで協会事務局までお申し込みください。

〈締め切り〉

2012 年 3 月 31 日（土） 必着

日本語学習支援ボランティア養成講座

日本語学習委員会

NIA の日本語教室には、現在約 120 名の学習者がいます。教室では日本語の学習だけでなく、日本の文化・習慣・暮らし方などを学習者のニーズにあわせ紹介しています。原則として、マンツーマンで学習をしていますので、きめ細やかな学習支援と情報提供ができています。

この日本語教室は、現在日本語学習支援ボランティアを募集中です。資格については事務局にお問い合わせください。また 2012 年秋に、ボランティア養成講座を開講予定です。NIA ホームページ、スクウェア、広報習志野などでお知らせいたします。日本語学習支援ボランティアに興味のある方はぜひご参加ください。

タスカルーサ青少年訪問団

ホストファミリー募集

今年も姉妹都市タスカルーサ市（アメリカ・アラバマ州）から高校生（12 名）の訪問団を受け入れます。滞在期間中はホームステイをして、市民のみなさんとの交流や文化体験を行う事としております。つきましては、ホームステイ受け入れにご協力くださるホストファミリーを募集します。

〈滞在期間〉

平成 24 年 6 月 14 日（木）から 25 日（月）まで

〈ホストファミリーの条件〉

- ・滞在中、3 日以上受け入れが可能な方
- ・個室を提供いただけるご家庭
- ・朝夕の送迎が出来るご家庭
- ・滞在中の日曜日はホストファミリーと過ごして頂きます。

〈選考〉

- ・お申し込み状況をもとに、訪問者の意向をふまえて、協会で選考させていただきます。
- ・同世代の学生の方が優先します。

〈申込み〉

- ・締切日
会 員 の 方：3 月 16 日（金） 必着
会 員 外 の 方：3 月 30 日（金） 必着
- ・申込用紙は協会事務局にあります。
- ・訪問団の日程等詳細については、事務局にお問い合わせください。

スクウェア 第 97 号

発行 2012 年 3 月 1 日

習志野市国際交流協会

発行責任者 崎 山 征 雄
編集責任者 高 山 進三郎

〒275-0016
千葉県習志野市津田沼 5-12-12
サンロード津田沼 4 F
TEL/FAX 047-452-2650

<http://www.nia08.com/>
〈Eメール〉 nia@seaple.ne.jp